

佳作 日本に来て感じた事



刘 俊华
LIU JUNHUA

国	籍	中国
職	種	ハム・ソーセージ・ベーコン製造
実習実施者		九州丸大食品株式会社
監理団体		国際交流協同組合

私は、日本に来て約1年になりましたので日本の生活にだいぶ慣れました。

日本の料理はたくさんありますが、その中で一番好きなのは、ラーメンです。日本のラーメンは濃厚な味と風味を持つ麺類をつかった日本の代表的な料理です。

地域によりますが、大衆の好みに合わせた様々なラーメンが生まれてます。日本ではこの料理ラーメン大変人気があります。

友達と山に登った時、山のふもとにある有名な博多ラーメン屋に行った時、驚いた事がありました。それはそこにいた日本人のお客さんが皆ラーメンを食べている時に大きな音をたててラーメンを食べていて驚きました。

中国では口に物を入れながら話をしたり、食事中に大きな音を立てたりすると、よく両親から注意されます。しかし日本では食事中様々な音を聞く事ができます。音を立ててすすっても日本ではかまいません。スープを飲む時、そはを食べる時、ズルズル音を立ててすすっても問題ありません。コーヒーやお茶を飲む時でも大丈夫です。日本に来た初めの頃は変な気持ちでしたが、だ

んだん慣れてきました。慣れてしまうと何でもなくなりました。

そして又、日本人の友達と話していた時中国人の私には理解しがたい事がありました。それは、中国では自分の手料理でお客様をもてなすのが普通です。日本でも最近自分の手料理でお客様をおてなす若い人が増えてきました。しかしまだ専門店で購入してお客様に提供する人が多いように感じます。料理の先生になれるのではないかと思います。料理が上手だがお客様が来るといつも近くの寿司屋やそば屋に注文しておもてなしする。美味しい手料理を出した方がよいと思うのだがそう日本人はしない。

また日本人がお客様に食べ物をすすめる時がとても面白い。どんなに美味しいお菓子を作っても「お口に合うかどうか分かりませんがどうぞ」と言う。私は料理が下手ですが作った物が美味しかったら「これは私が作った物です。美味しいですよ、どうぞ」と自分が作った物だという事、それが美味しいという事ははっきり言ってお客様にすすめるだろう。

中国で日本語を勉強した時日本語について習ったが、日本の文化や習慣については全然習いませんでした。日本に来て初めて感じました。日本人が実際にどんな生活をして、どんな習慣を持っているのがよく分かってとてもよい経験になりました。